

市指定文化財<史跡>

ふるいけじょうあと
古池城跡

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市出田 上出田



花房台地の北を流れる菊池川が、南から西に大きく流れを変えるところに出田の集落があり、比高差25mの丘の上が城跡とされている。

『菊池風土記』に「出田村に在り 出田太郎代々居す。十八外城の内、今城跡を俗に鬼石」と記されており、『肥後国誌』には天正年中(1573～92)まで城親賢^{じょうちかまさ}が在城したと伝えるが、一説では天文(1532～55)頃まで親賢の父、親冬^{ちかふゆ}が在城したともいう。

城跡は丘陵地の先端部、直径10m足らずの円形をしている台地からは、菊池平野を一望できる地の利があり、梨木坂^{なしきぎか}、万太良坂^{またらざか}を前後に控えて側面からの敵を防ぎ、前方には菊池川が流れる天然の要害といえる。登り口から城跡へは108段の石段があって、城跡には宮地岳神社、金毘羅宮、風除け権現が祀られている。また城跡の近くに菊池五山の一つ「手洗山南福寺」がある。